

西谷ふれあい運動会をふり返って

6月8日(土)、とてもよい天候の中、西谷ふれあい運動会を行いました。かつて運動会は、季節でいうと秋の行事の定番でした。宝塚市内では、9月や10月に行う学校がほとんどでしたが、今ではそういう学校が少なくなり、多くの学校では6月中に運動会を行っています。西谷では、以前から幼稚園（今はこども園）、小学校、中学校の3校園の合同で行っています。宝塚市では唯一、また全国的にも珍しく、校種を超えて運動会を行っています。昨年はこの特徴的な運動会を兵庫県教育委員会のホームページに掲載してもらいました。

さて、今年の運動会をふり返ると、子どもたち一人一人がとてもよく力を出していたと感じています。競走やリレー、団体競技では、チームを意識しながらも自分の役割をふまえ、力を出し切っていたように思います。また、ダンスなどの表現でも、短い練習時間にもかかわらず動きを全て覚え、一生懸命に表現している姿を見ることができました。ほんとうに、子どもたちの力には目を見張るものがあり、感心させられました。

また、今回は保護者競技を設け、小学6年生と中学3年生の児童生徒とその保護者による綱引き対決もありました。事前に保護者競技があることはお知らせしていましたが、特に申込制にせず、当日に参加してもよい保護者に呼びかけを行ったところ、絶妙な人数の保護者の方に集まっていただきました。出場した児童生徒や保護者だけでなく、見て応援した児童生徒や保護者にも印象に残る綱引きになったのではないかと思います。

学校では教科書とノート、タブレットパソコンなどを使って国語や算数などの教科の学習をたくさんしていますが、運動会のような行事を通して、点数では表せない力を身につけて伸ばすことも、とても大事なことです。そういう意味では、子どもたちには多くの力が身につく伸びた運動会でした。

小学校では運動会終了後に保護者のみなさまから感想をいただいておりますが、多くの方々から肯定的な感想をたくさんいただきました。

「子どもたちが生き生きとしている姿が見られた」「一人一人の成長が見られてよかった」「今年もたくさんの感動をもらった」「内容に工夫があり、見せ場があった」「幼児から中学3年生までの成長を感じられる西谷ならではの運動会はとてもよい」「西谷ならではの異年齢交流があり、見ている方も心が温かくなった」「卒業生も見に来ていた姿を見て、微笑ましく思った」

保護者の感想の一部ですが、他にはない運動会であることや子どもたちのがんばりを見てとても喜んでいただいている気持ちがよく伝わってきました。来年も子どもたち、保護者、地域、職員が連携して、園、小、中の合同での運動会がよりよいものになるよう取り組んでいきたいと思っています。

みなさま、ありがとうございました。